

REAS を利用した 人口減少・産業分析の概要



長野県 箕輪町議会 地方創生・人口減少対策等特別委員会

1. 人口分析(RESAS) ①人口の推移・推計(RESAS人口マップ 人口構成 より)



箕輪町の人口は、2005年をピークに減少に転じました。

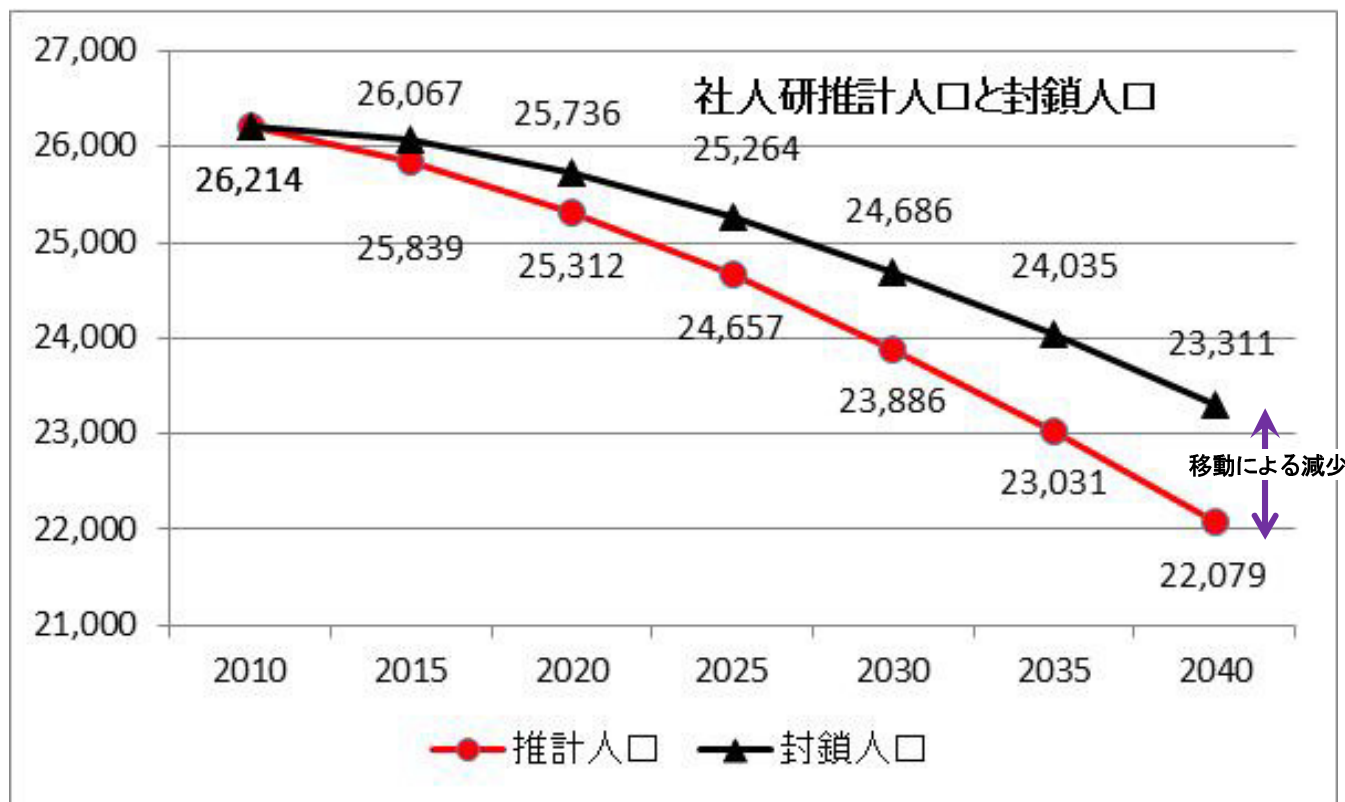
2015年国勢調査人口(25,241人)は、社会保障人口減少対策の、H25公表推計人口(25,839人)より減少したため、2020年には人口が増加する推計(25,312人)になり、グラフが上方に折れています。

生産年齢人口の減少が大きくなっています。

箕輪町は、人口減少対策に、さらに力を入れる必要があります。

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(平成25年3月公表)に基づく推計値。

1. 人口分析(RESAS) ②封鎖人口と移動による人口減 (「社人研」推計データ より議会事務局作成)



社人研の推計人口と、封鎖人口(出生と死亡だけの要因で変化する人口)の差が人口移動による減少人口です。

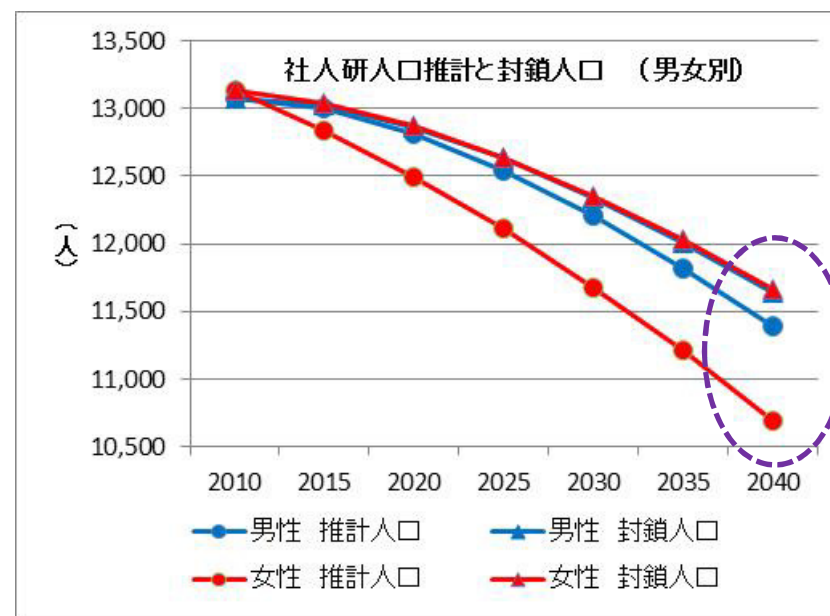
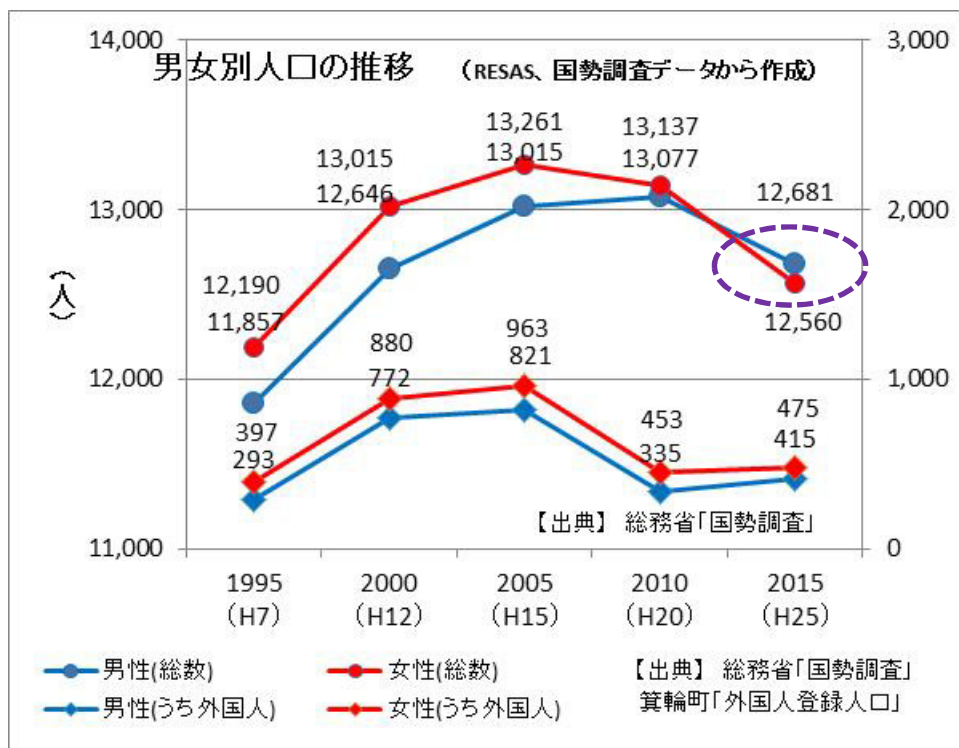
推計では、2040年には、人口移動により、1,232人の人口が減少することになります。

【出典】 国立社会保障・人口問題研究所 「封鎖人口を仮定した男女・年齢(5歳)階級別の推計結果-『日本の地域別将来推計人口』」

封鎖人口：出生と死亡だけの要因で人口が変化するると仮定した場合の推計。すなわち、人口移動の影響を含まない参考値。

1. 人口分析(RESAS) ③男女別人口の推移

(RESAS人口マップ 人口構成データ、社人研推計データから事務局作成)



【出典】 国立社会保障・人口問題研究所 「封鎖人口を仮定した男女・年齢(5歳)階級別の推計結果-『日本の地域別将来推計人口』」

封鎖人口: 出生と死亡だけの要因で人口が変化すると仮定した場合の推計。すなわち、人口移動の影響を含まない参考値。

2005年をピークに女性の人口は減少し、2015年には女性の人口は男性人口を下回りました。

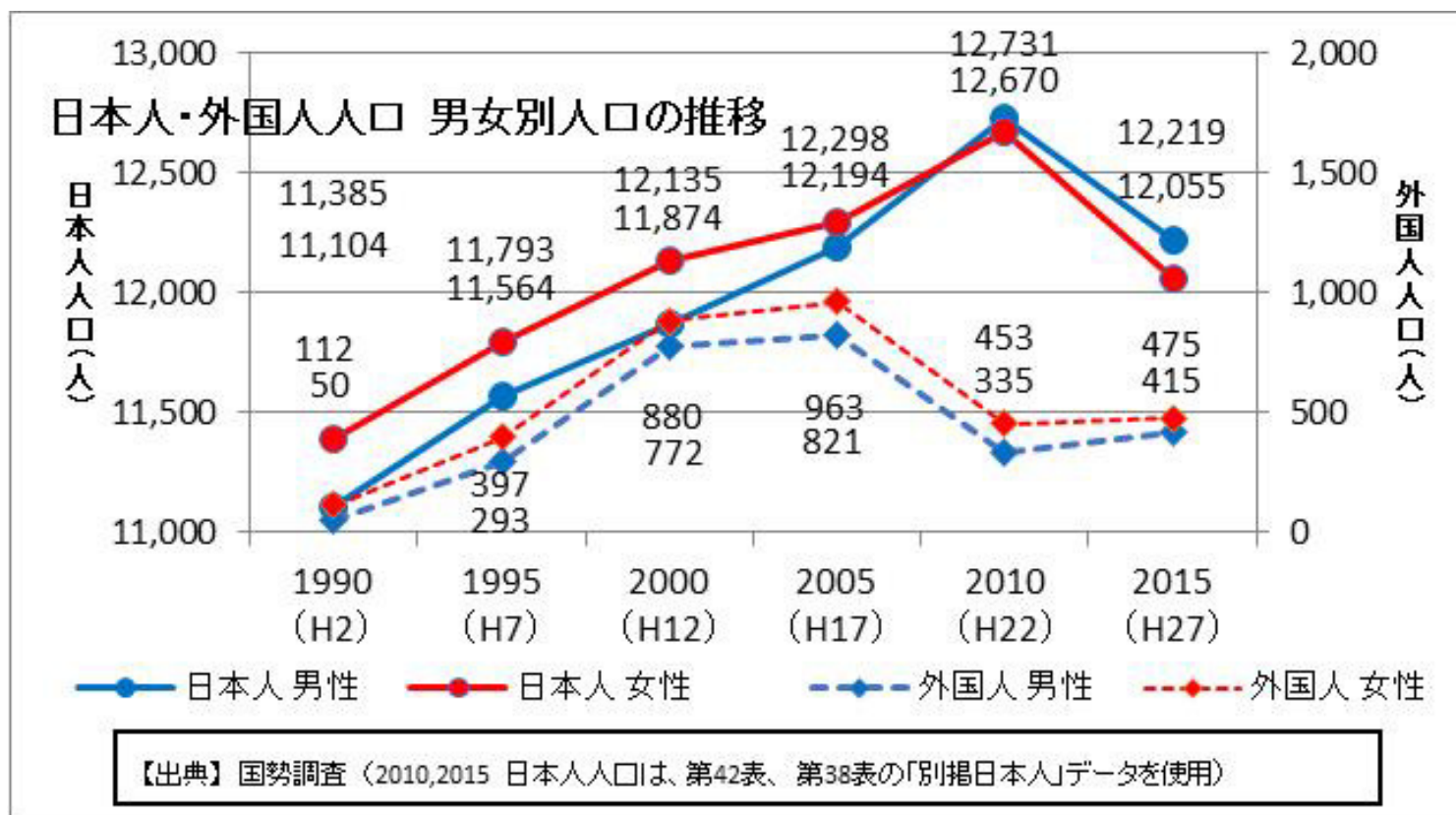
2015年は、外国人人口の減少幅に比べると、総数の落ち込みが激しく、日本人人口の減少が大きくなりました。

2015年、女性の人口が、男性の人口を下回りました。

社人研の人口推計と封鎖人口の差が人口移動による人口減少です。推計によると、人口移動による女性人口の減少は男性より大きく、2040年には<人口移動>により女性の人口は979人減少します。これは、男性減少数の3.8倍になります。

1. 人口分析(RESAS) ④外国人人口の推移

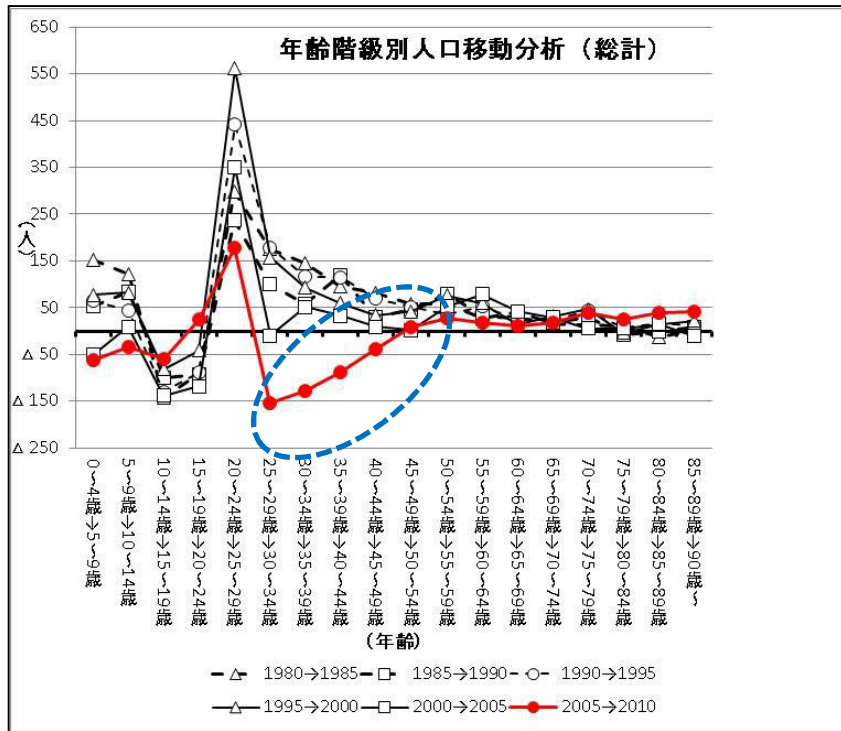
(「国勢調査」より議会事務局作成)



箕輪町の人口増加には、外国人人口の増も寄与してきました。
 1995年から外国人人口は大きな伸びを見せ、2005年には男性が821人、女性が963人になりました。
 ところが2010年には男性が335人(▲486人)、女性が453人(▲510人)の大きな減となりました。
 2015年には、男女とも、わずかに増加しました。

国勢調査人口は2005年がピークでしたが、日本人の人口は2010年まで増え続けましたが、女性人口が男性人口を61人下回りました。2015年には日本人人口は減少し、男女の人口数の差は164人と大きくなりました。

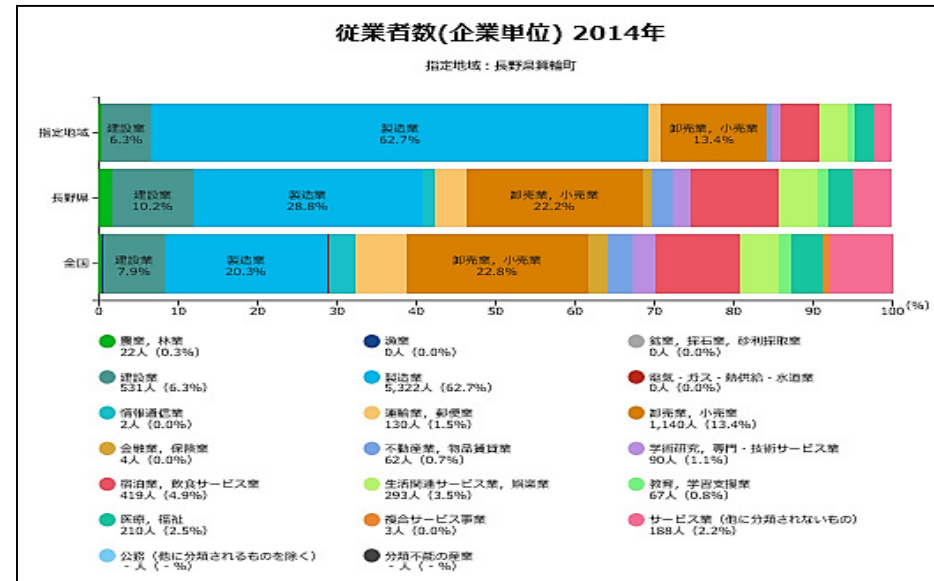
1. 人口分析(RESAS) ⑤年齢階級別人口移動分析(男女総計) (RESAS人口マップ 人口の社会増減より)



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

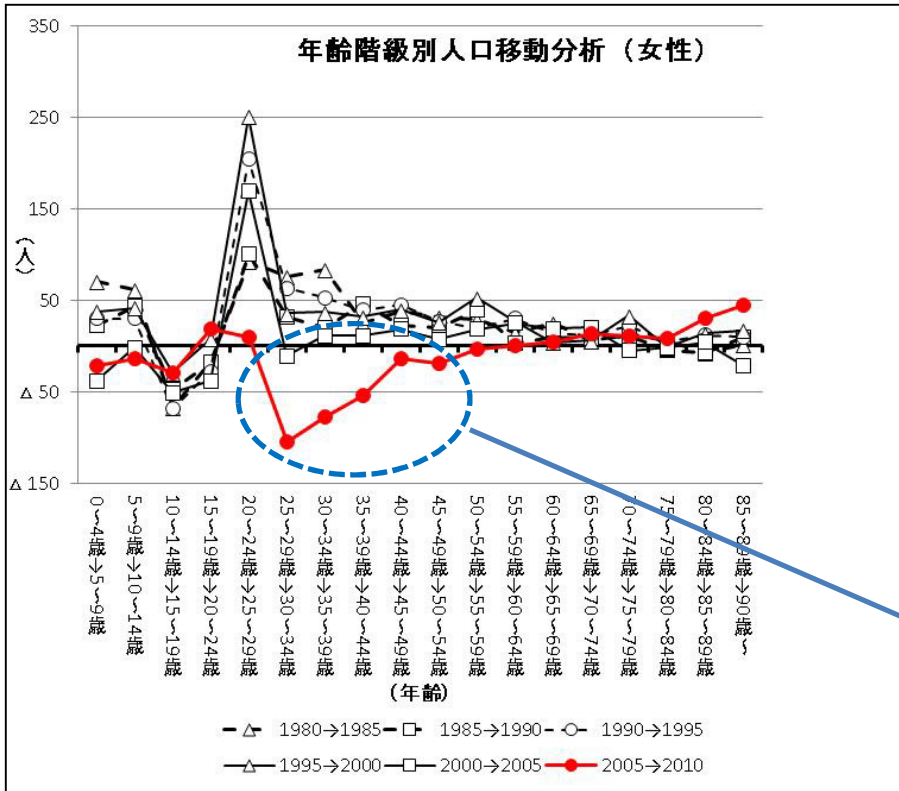
20代後半から70代まで転入超過が続いていました。2010年になると、「20~24歳→25~29歳」の転入超過数が減少し、「25~29歳から45~49歳」の人口は転出超過に転じました。箕輪町は、全国や県に比べ、製造業の従業者数の割合が高いのが特徴です。そのため、2008年のリーマンショックの影響を大きく受け、人口減少が進んだのではないかと推測しました。**(今後、外国人人口の減少との関連を調べる必要があります)**

従業者数(事業所単位) 構成
(2014: 指定地域【箕輪町】・長野県・全国) の比較 RESASより)



【出典】総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工 【注記】会社数と個人事業所を合算

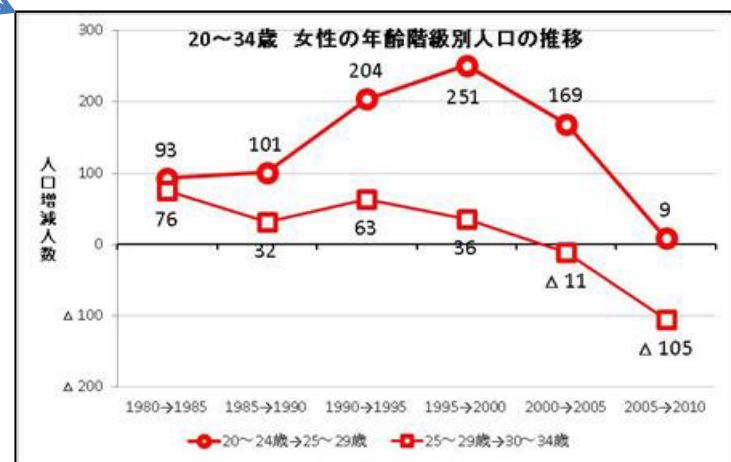
1. 人口分析 (RESAS) ⑥年齢階級別人口移動分析 (女性) (RESAS人口マップ 人口の社会増減 より)



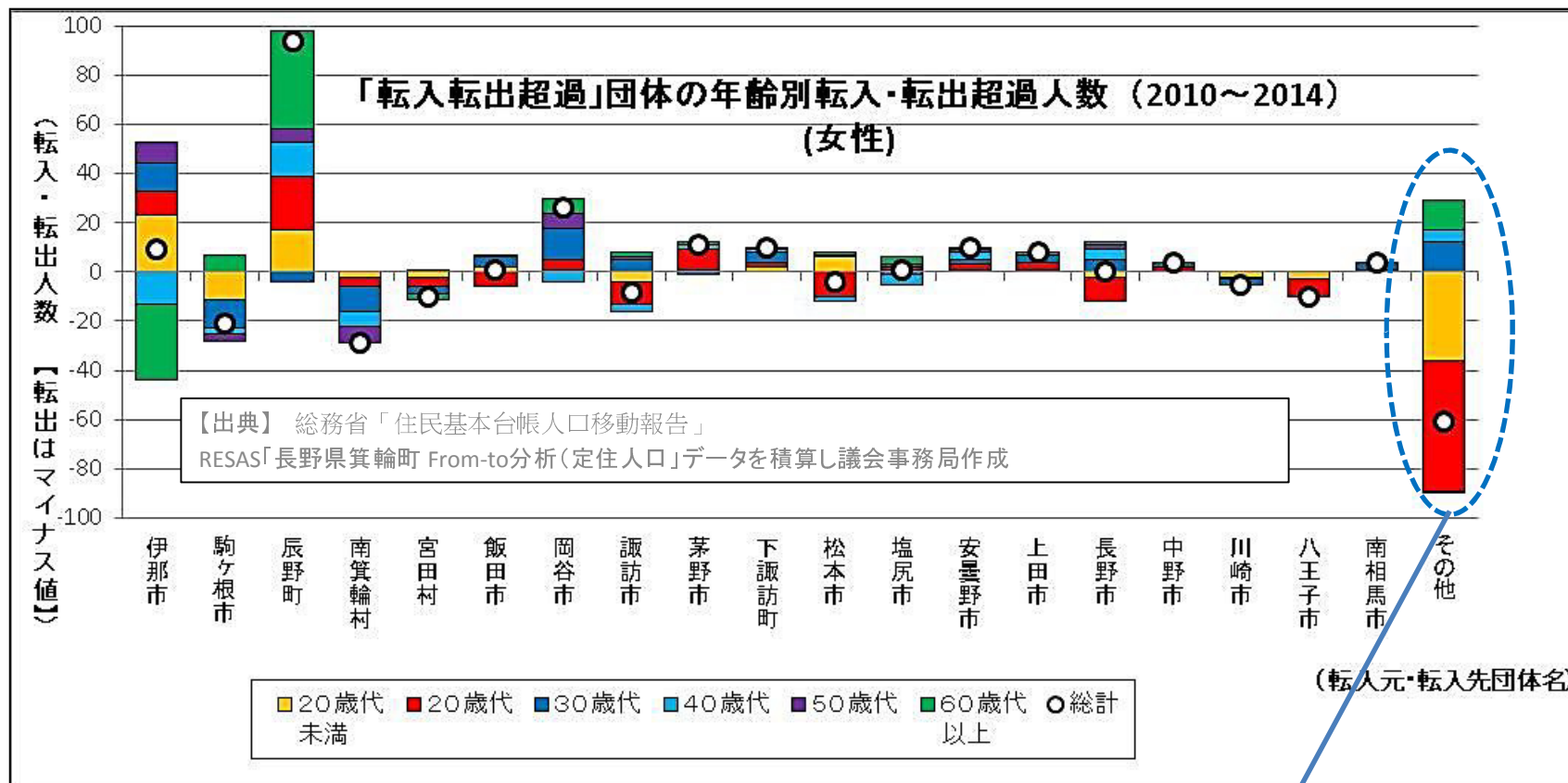
女性の人口は、20代後半から70代まで転入超過が続いていました。
 2010年になると、「20~24歳→25~29歳」の転入超過数が減少し、「25~29歳から45~49歳」の人口は転出超過に転じました。

「2005→2010年」では、「20~24歳から45~49歳」の男性人口は8人の転入超過であるのに対し、女性の人口は241人の転出超過になっています)

【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成



1. 人口分析(RESASデータを加工) ⑦「転入転出超過」団体の年齢別転入・転出超過人数(女性)
 (RESAS人口マップ 人口の社会増減 より)



女性の人口は、首都圏、中京圏に転出超過になっているのではないかと推測し、2010から2014年のRESAS「人口マップ 人口の社会増減 From-To分析」のデータを積み上げ、グラフを作成しました。「その他」に分類される人数が多く、その内訳を調べることにしました。

1. 人口分析(国勢調査データ) ⑧箕輪町 転出超過上位団体 (赤字は県外への転出)

(議会事務局作成)

(男女合計)			(女性)			(男性)		
順位	超過団体	超過数 (人)	順位	超過団体	超過数 (人)	順位	超過団体	超過数 (人)
1	南箕輪村	-120	1	南箕輪村	-59	1	南箕輪村	-61
2	塩尻市	-47	2	東京都	-36	2	伊那市	-18
3	愛知県	-43	2	愛知県	-36	3	塩尻市	-16
4	東京都	-39	4	塩尻市	-31	4	滋賀県	-10
5	駒ヶ根市	-18	5	駒ヶ根市	-15	5	宮田村	-8
5	京都府	-18	5	神奈川県	-15	6	愛知県	-7
7	諏訪市	-17	7	諏訪市	-12	6	京都府	-7
8	埼玉県	-16	8	埼玉県	-11	8	石川県	-6
9	神奈川県	-15	8	京都府	-11	8	富山県	-6
10	滋賀県	-14	10	新潟県	-7	10	諏訪市	-5
						∴	∴	
						18	東京都	-3

そこで、「2010年国勢調査」の転入、転出の調査表から、転出超過数を調べました。

推測したように、女性は首都圏、中京圏の都県に流出していました。

しかし、男性の転出超過は首都圏、中京圏への偏りは表れず、町内企業の本社支社、関連企業がある県へ流出していました。

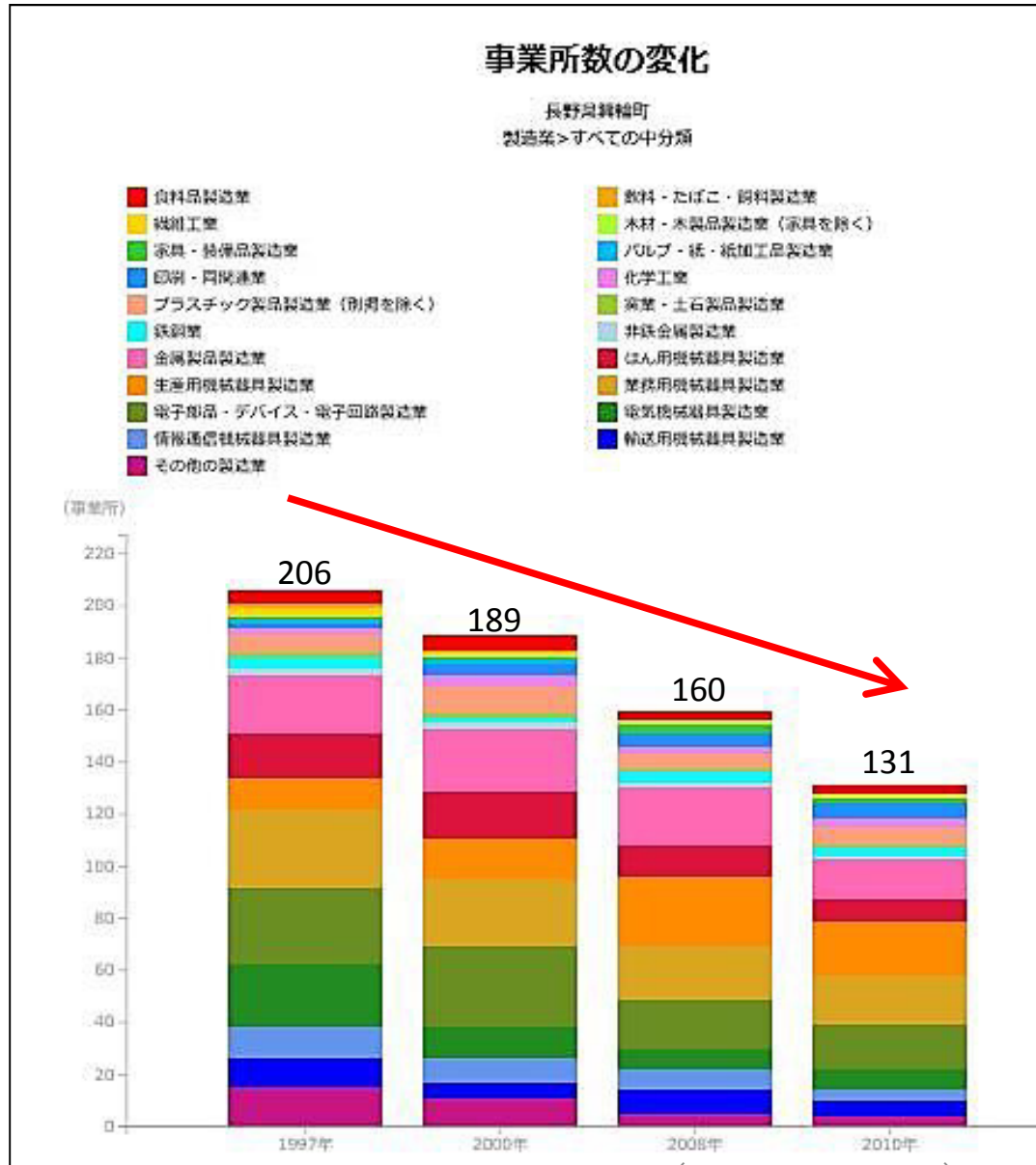
(年齢別の転入出先人口はわかりませんでした)

【出典】平成22年国勢調査

「第4-2表 現住市区町村による5年前の常住市区町村，男女別人口及び15歳以上就業者数(転入)－市町村」「第5-2表 5年前の常住市区町村による現住市区町村，男女別人口及び15歳以上就業者数(転出)－市町村」

注: <転出超過> = 転入人数から転出人数を引いた数値がマイナスになる場合

2. 女性就業者数分析 ① 製造業事業所数の変化 (RESAS 産業構造マップ 製造業 製造業の構造)



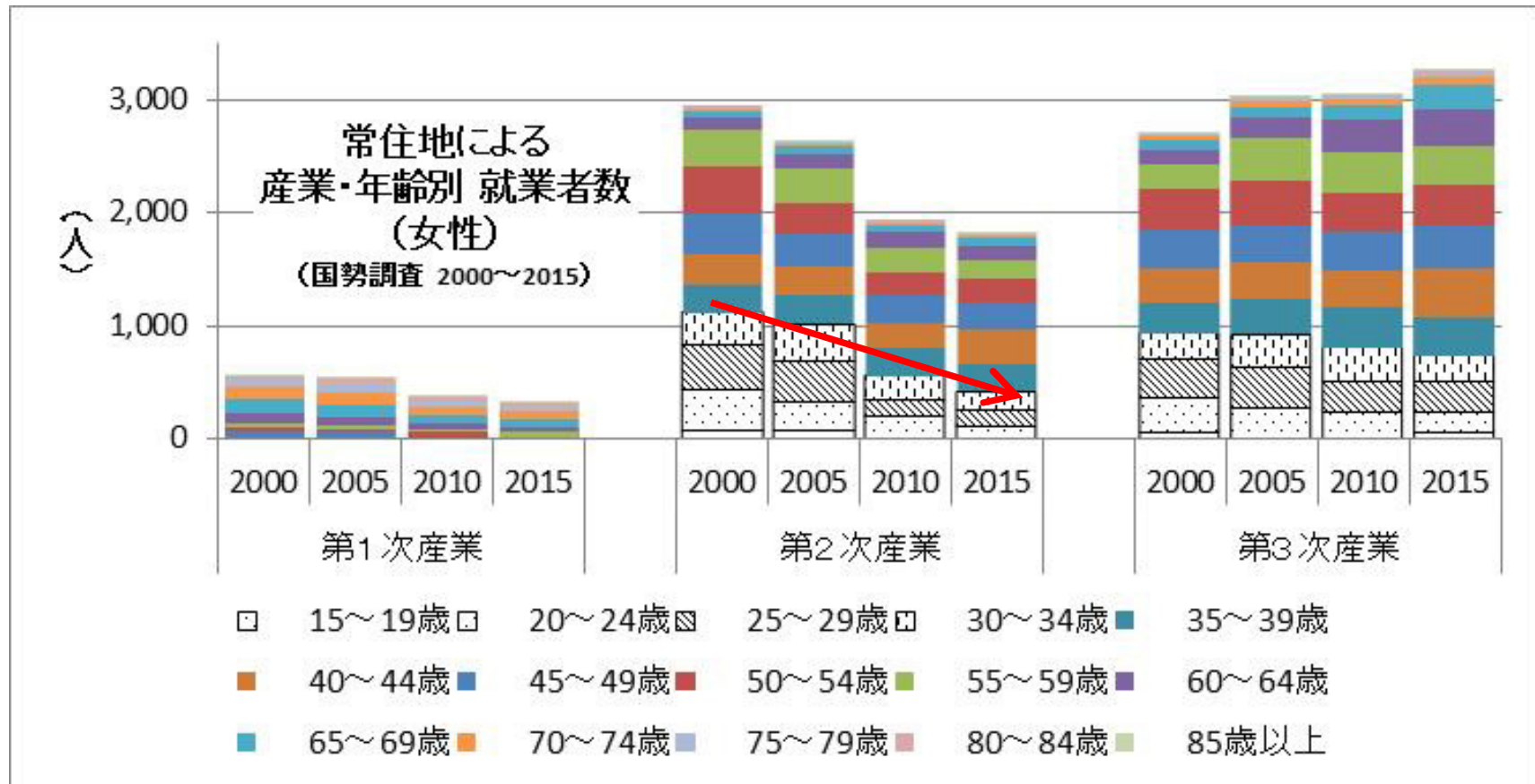
(Ver.4.2 30.1.15) HP

製造業の事業所数は、1997年の206事業所をピークに減少しています。2010年は131社で、リーマンショックの2008年に比べると、29社(18.1%)減少しました。

【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工

2. 女性就業者数分析 ② 箕輪町に住む人の産業・年齢別 就業者数の推移（女性）

（議会事務局作成） 出典：国勢調査



箕輪町に住む女性の第2次産業就業者数は大きく減少しました。2008年のリーマンショックを後の減少が大きくなっています。特に、15歳から34歳までの女性就業者数が大きく減少していました。町内に住む女性のすべての就業者が町内企業で就業しているわけではないので、さらに分析データが必要になりました。第2次産業就業者数の減少は全国的な傾向ですが、箕輪町では第3次産業就業者も頭打ちになっています。

2. 女性就業者数分析 ③ 箕輪町に住む人の産業・年齢別 就業者数の推移（女性）

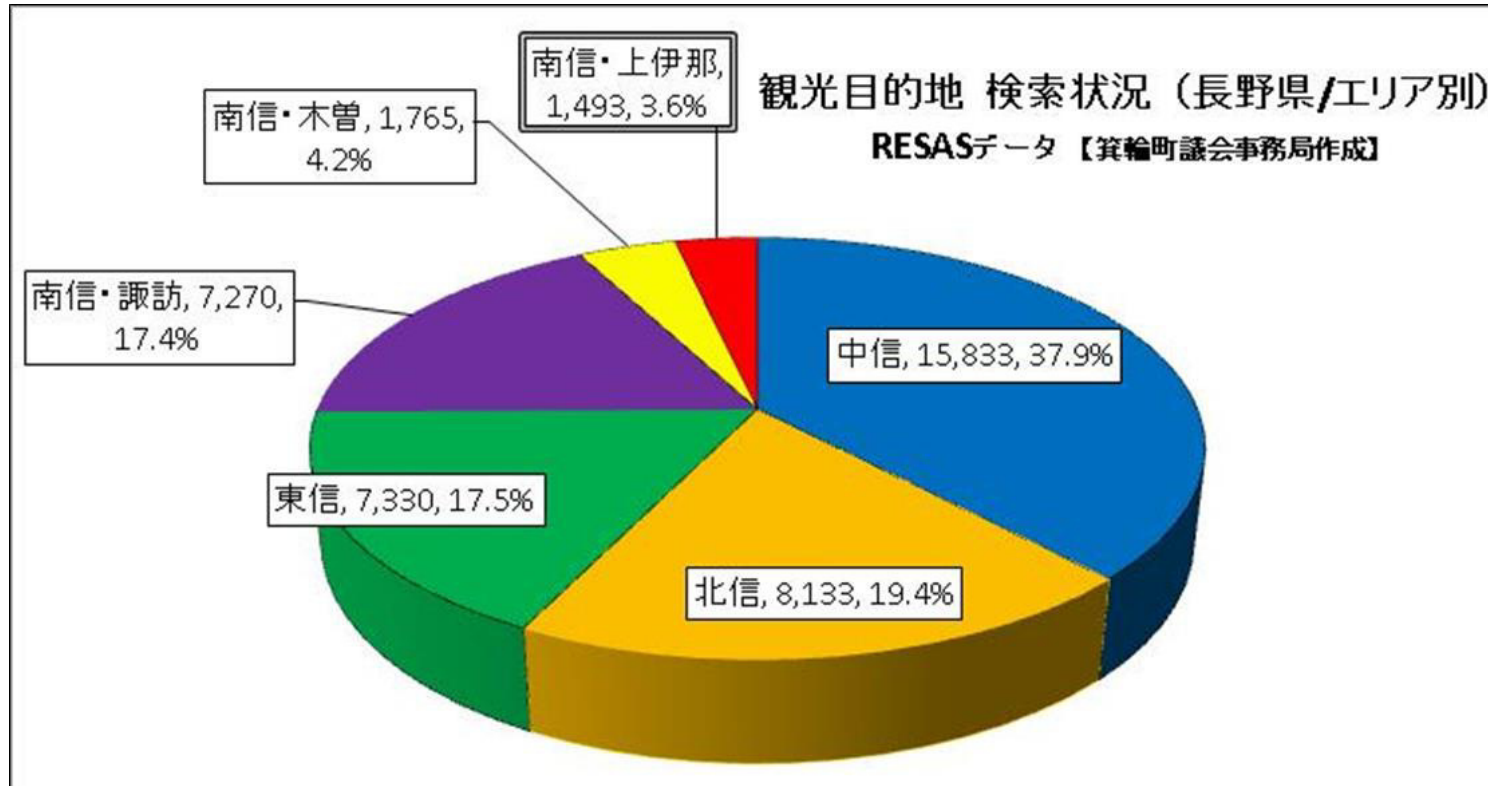
（議会事務局作成） 出典：国勢調査



リーマンショック後の2010年、女性の第2次産業従業者数は減少しました。2010年では、町外での従業者数は10人減と、ほぼ変わりませんが、町内で第2次産業に従業する女性は685人と大きく減少しました。

2015年も第2次産業の町内の従業者は減少しました。

3. 観光分析 ① 長野県の観光目的地 検索状況 (RESASデータ2014により、議会事務局作成)



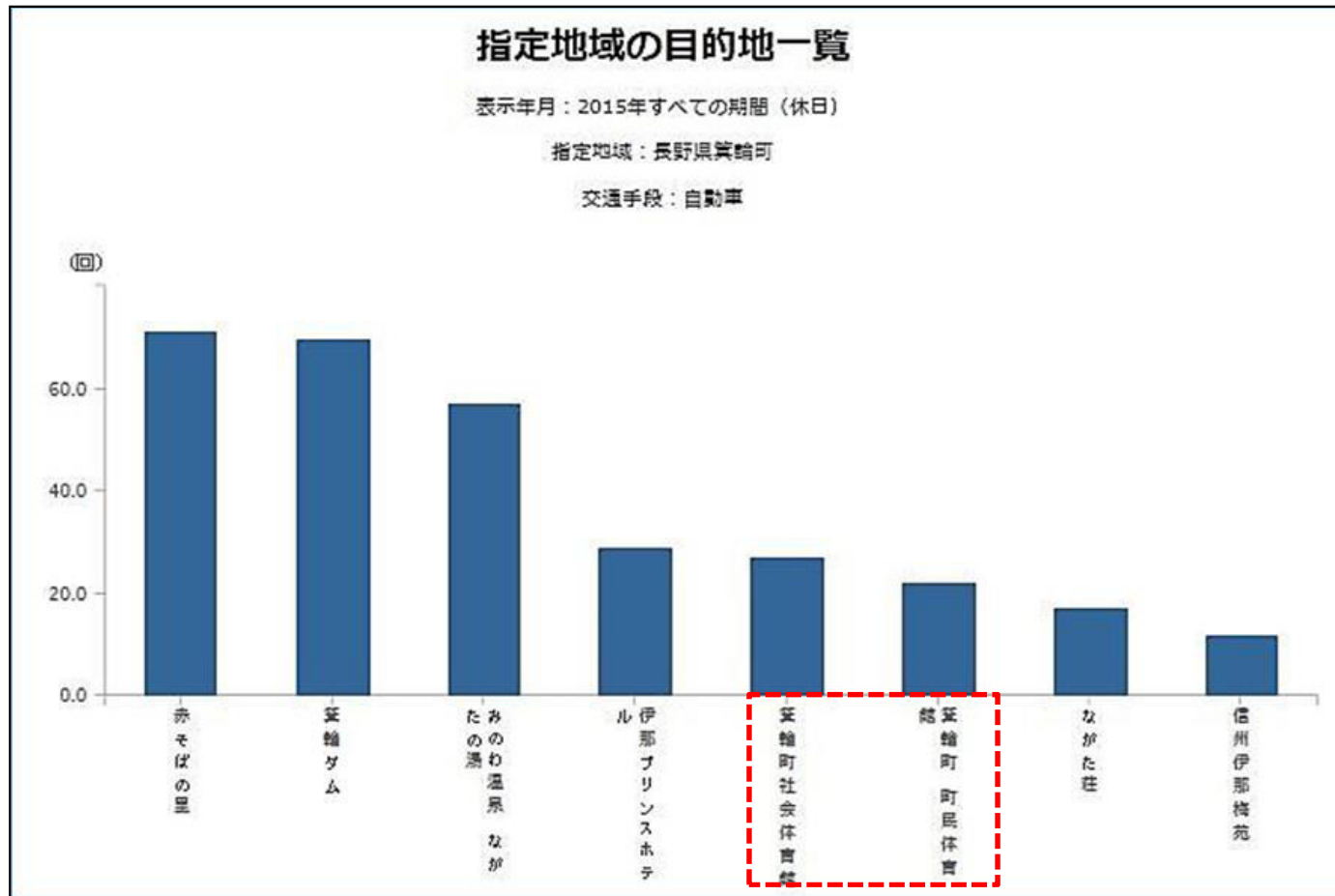
【出典】株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」【注記】検索回数は、同一ユーザの重複を除いた月間のユニークユーザ数。下記条件に全て該当した場合にのみ表示。

- ・施設分類が、観光資源、宿泊施設や温泉、広域からの集客が見込まれるレジャー施設や商業施設に該当
- ・年間検索回数が自動車は50回、公共交通は30回以上
- ・年間検索回数が全国1000位以内または都道府県別50位以内または市区町村別10位以内

長野県の観光地検索状況は、中信、北信、東信、諏訪が92.2%を占めています。

上伊那地域は観光資源が乏しく、目的地検索状況も3.6%と少なくなっています。

3. 観光分析 ② 箕輪町の観光目的地 検索状況 (RESAS・観光マップ・国内・目的地分析)



【出典】株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」【注記】検索回数は、同一ユーザの重複を除いた月間のユニークユーザ数。下記条件に全て該当した場合にのみ表示。

・施設分類が、観光資源、宿泊施設や温泉、広域からの集客が見込まれるレジャー施設や商業施設に該当

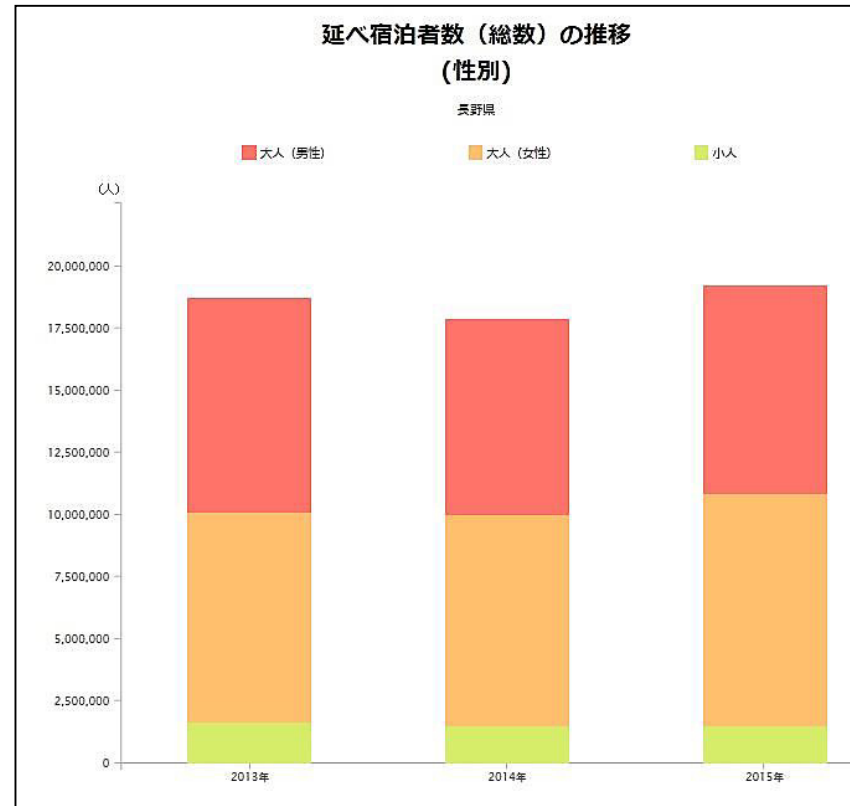
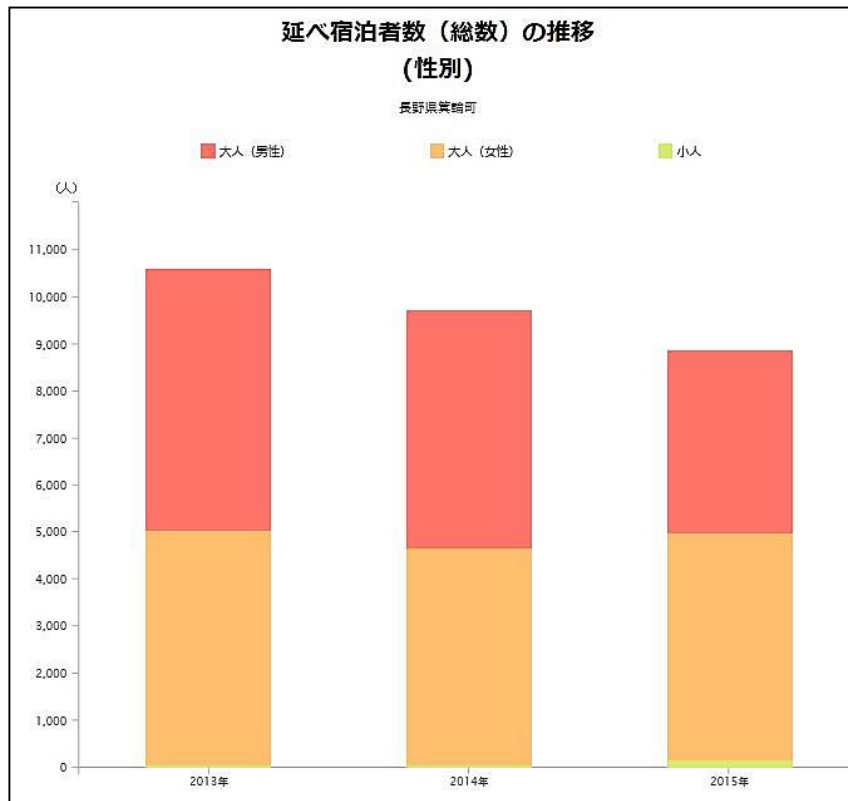
・年間検索回数が自動車は50回、公共交通は30回以上

・年間検索回数が全国1000位以内または都道府県別50位以内または市区町村別10位以内

箕輪町は、赤そば、もみじ湖(箕輪ダム)、ながたの湯の検索が多くなっています。

また、社会体育館、町民体育館が検索上位になっています。スポーツイベント開催の効果が考えられます。

3. 観光分析 ③ 延べ宿泊者数(総数)の推移 (RESAS)



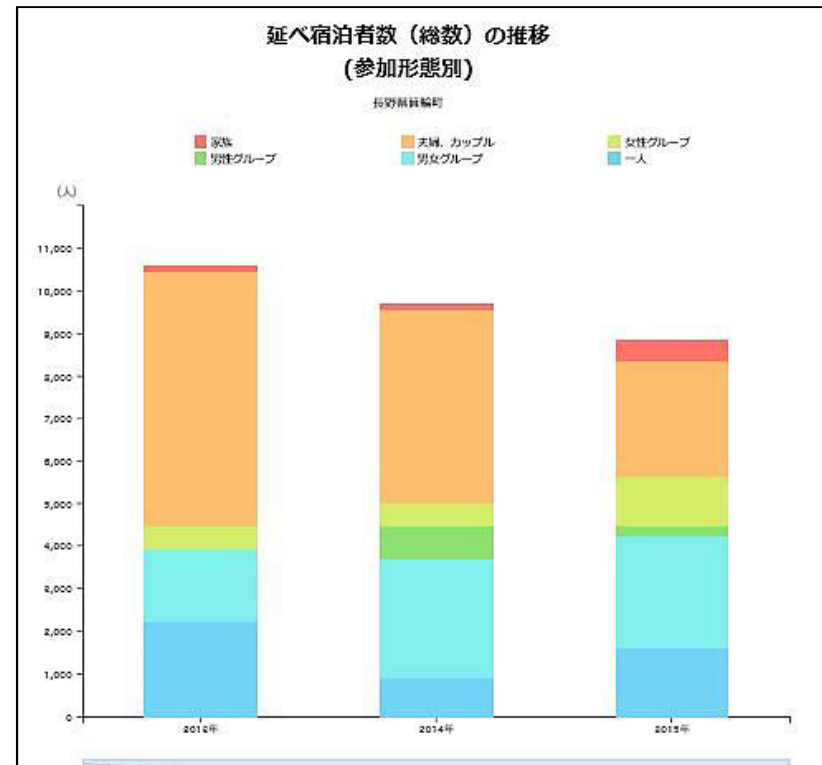
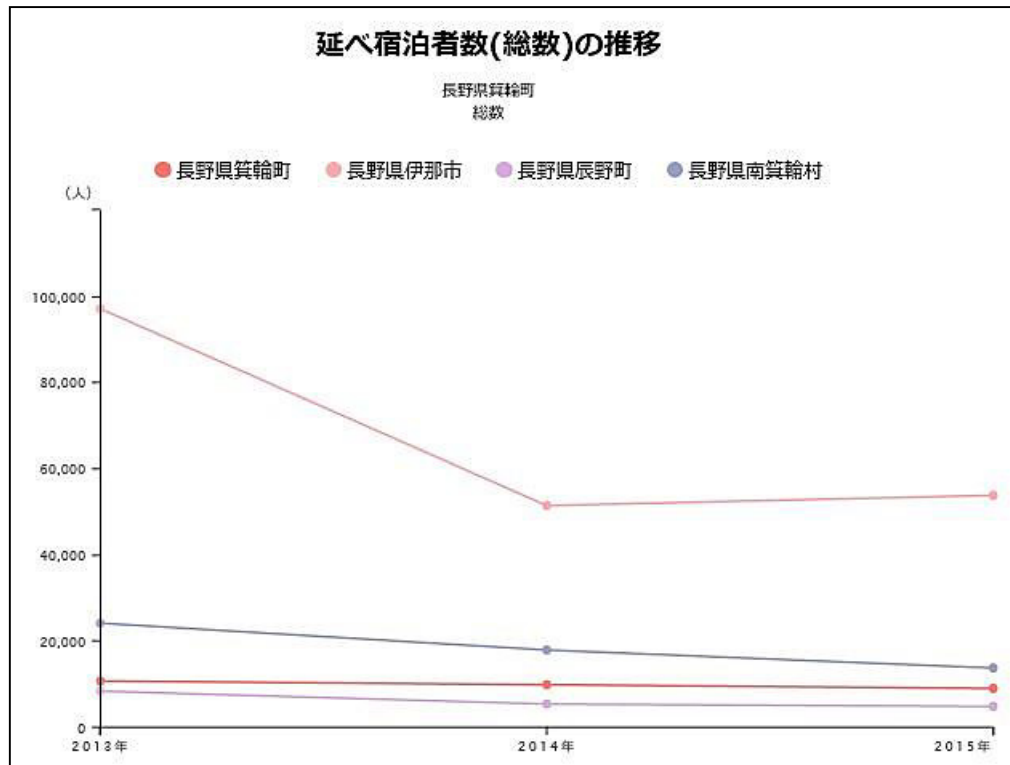
【出典】経済産業省「観光予報プラットフォーム」【注記】観光予報プラットフォームでは、日本全体の宿泊実績データのうち、7,000万泊以上(2016年10月現在)のサンプリングデータ(店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売)を抽出し、宿泊者数の実績データを算出している。各データ・情報の提供元は非公開としている。

延べ宿泊者数(総数): 延べ宿泊者数(日本人)と延べ宿泊者数(外国人)を合計した数

2013年、10,592人だった箕輪町の宿泊者数は、2014年は9,713人、2015年は8,690人と減少しています。

長野県全体の宿泊者数は2014年に減少したものの、2015年には回復しています

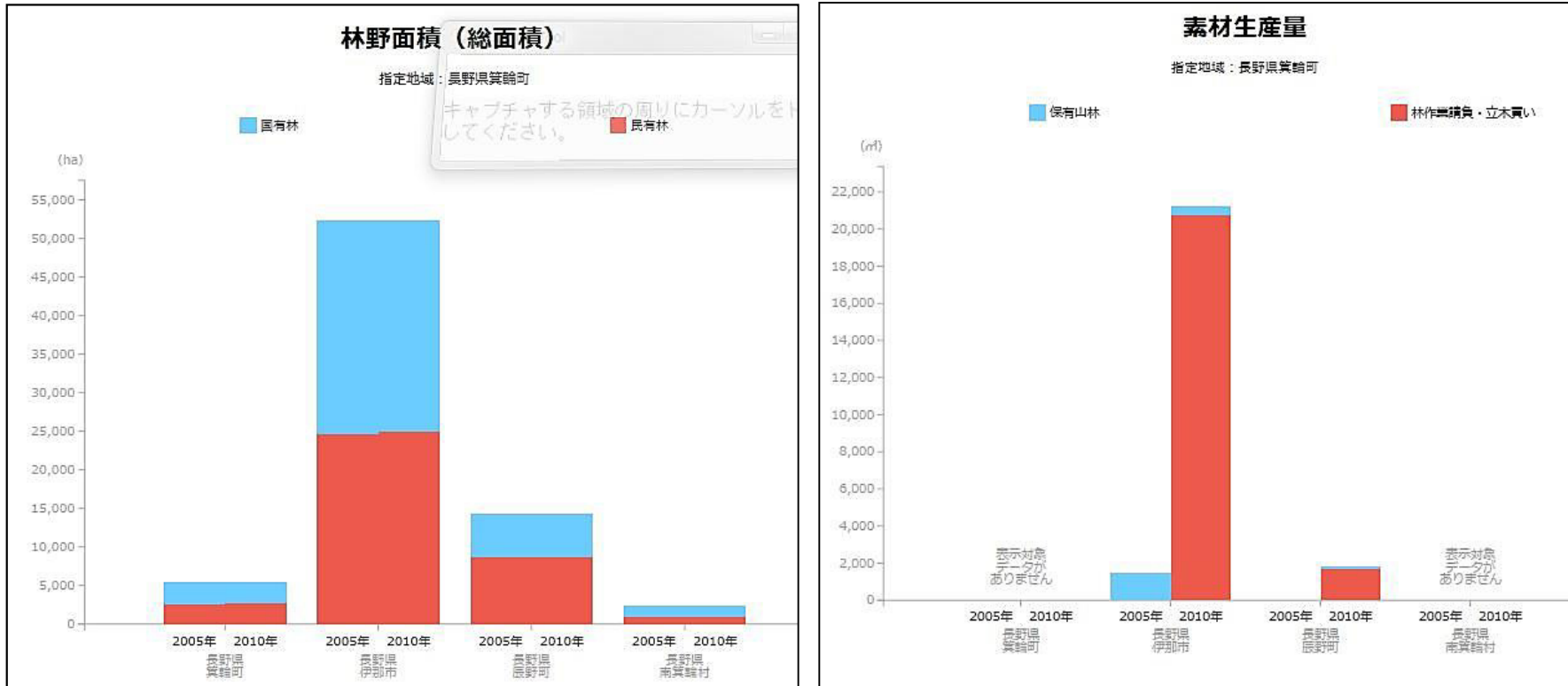
3. 観光分析 ④ 延べ宿泊者数(総数)の推移(近隣市町村と比較)、延べ宿泊者数(総数)の推移(参加形態別) (RESAS)



【出典】経済産業省「観光予報プラットフォーム」【注記】観光予報プラットフォームでは、日本全体の宿泊実績データのうち、7,000万泊以上(2016年10月現在)のサンプリングデータ(店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売)を抽出し、宿泊者数の実績データを算出している。各データ・情報の提供元は非公開としている。
延べ宿泊者数(総数):延べ宿泊者数(日本人)と延べ宿泊者数(外国人)を合計した数

近隣市町村の宿泊者数を比較すると、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町の順になります。
南箕輪村は2015年では13,623人に対し、箕輪町は8,874人で南箕輪村の65.1%になっています。
箕輪町は、〈夫婦・カップル〉の宿泊者が減少しています。

4. 林業分析 ① 林野面積、素材生産量 (RESAS)

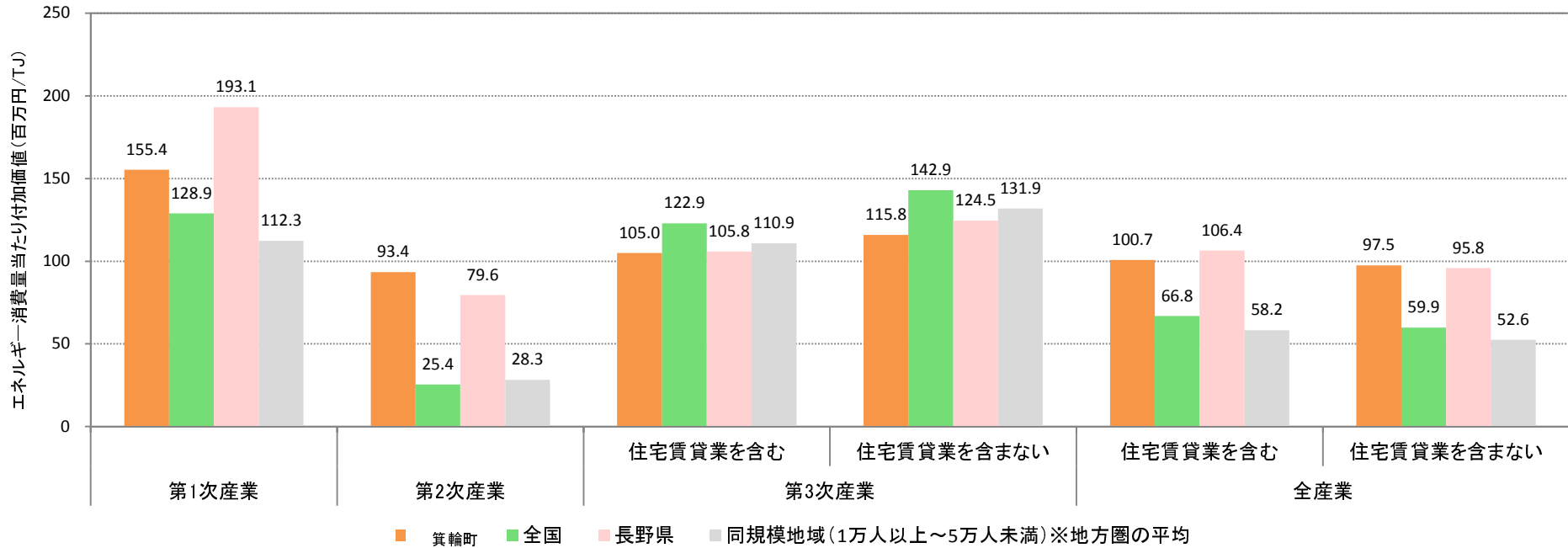


出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

近隣市町村と比較すると、箕輪町は林野面積が少なく、素材生産量もデータに出てきません。しかし、森林は箕輪町の豊かな自然と景観を形作っている、重要な要素です。

4. 林業分析 ② 産業別エネルギー生産性（地域経済循環分析:環境省）

産業別エネルギー生産性



【出典】 環境省：地域経済循環分析

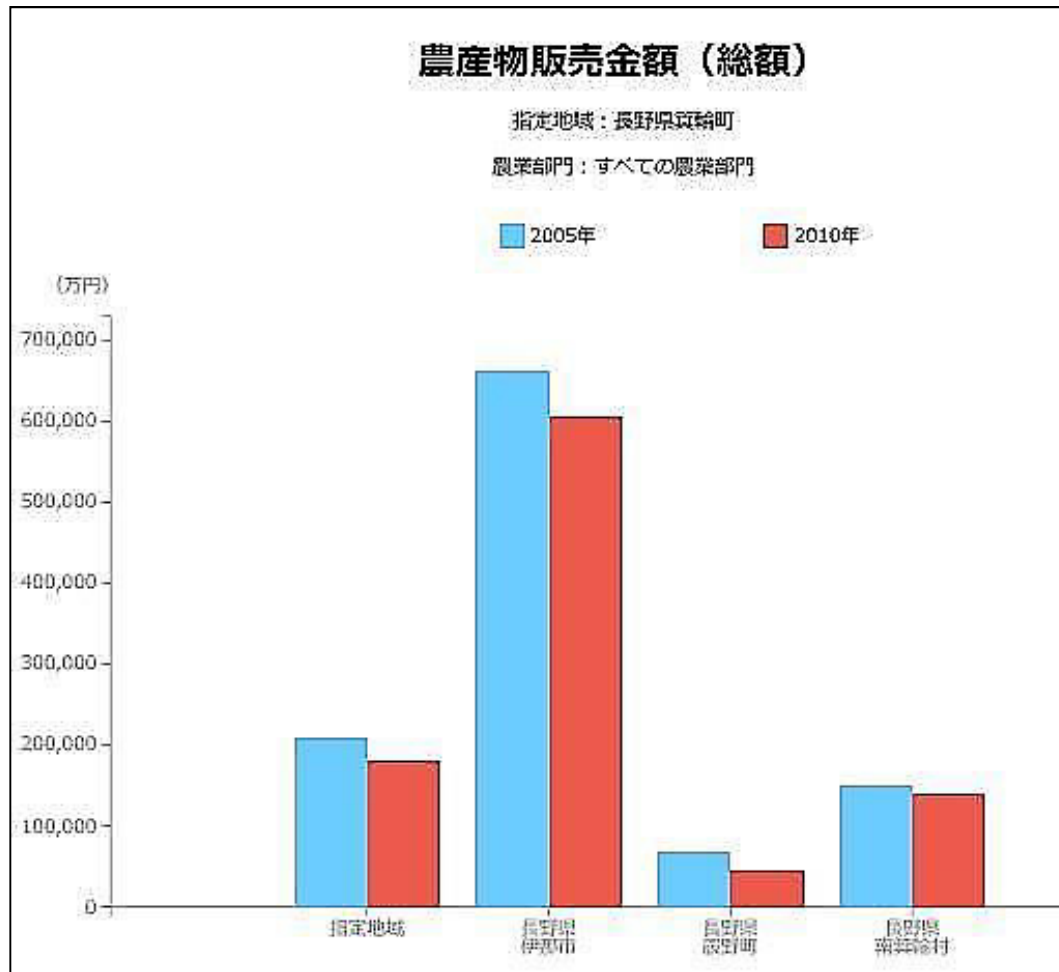
注) GDP統計の不動産業には帰属家賃が含まれており、地域経済循環分析用データの産業分類では第3次産業の住宅賃貸業に帰属家賃が含まれている。帰属家賃は、実際には家賃の受払いを伴わないものであるため、これを含む場合と含まない場合の2パターンで労働生産性を作成している。

エネルギー生産性の向上は、企業のコスト削減の観点のみならず、CO2排出量を削減するための課題となっています。

箕輪町のエネルギー生産性は、全産業では全国、県、人口同規模地域のいずれと比較しても高くなっています。産業別には、人口同規模地域と比較すると第1次産業と第2次産業で高くなっています。

林業を<エネルギー>の視点から、捉えてみることも必要です。

5. 農業分析 ① 農作物販売金額 (RESAS)

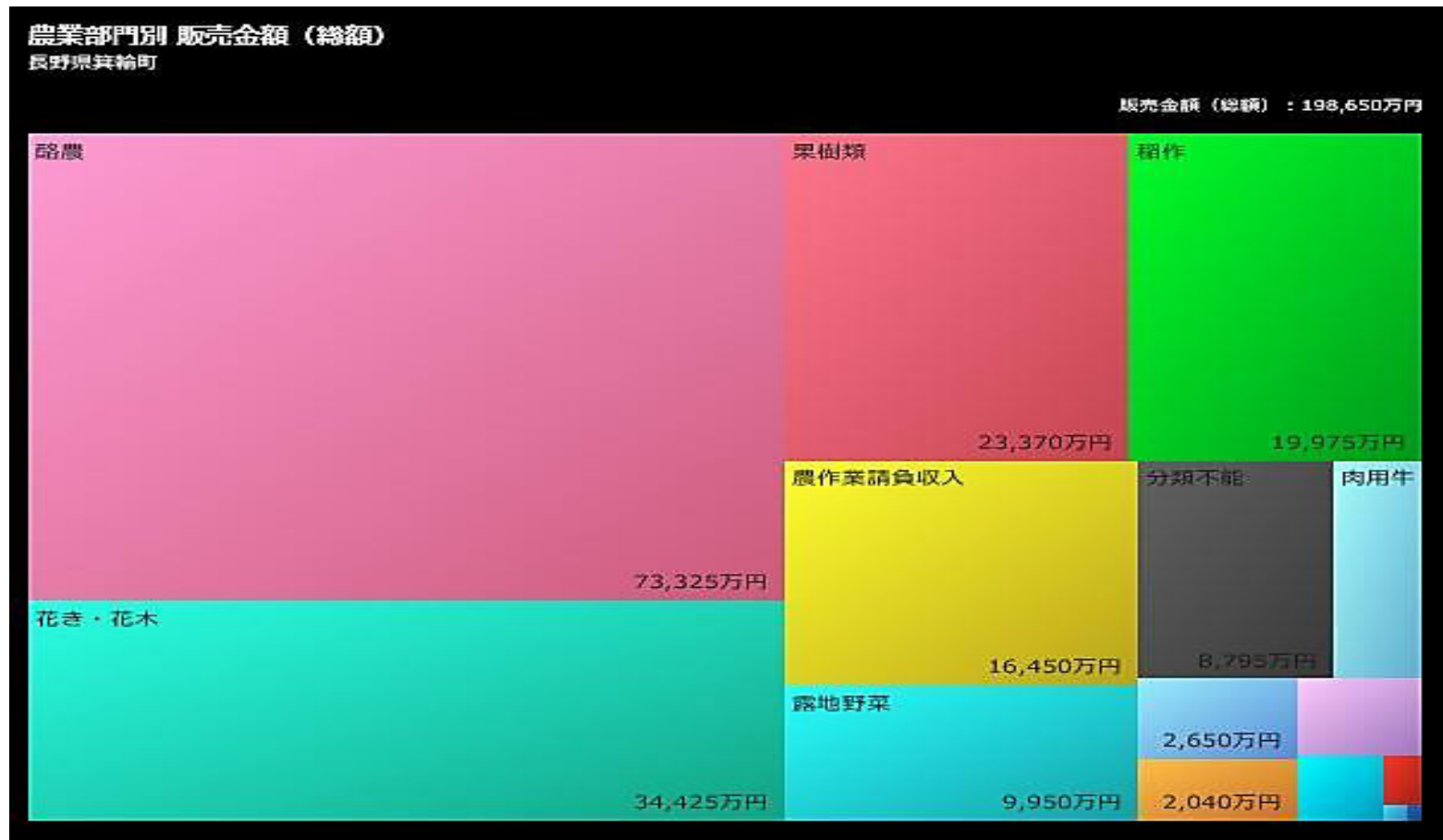


【出典】 農林水産省「農林業センサス」再編加工 【注記】 農産物の販売金額は、下式による推計値。
販売金額 = \sum (各階層中位数 × 各階層経営体数)
旧市区町村とは、1950年(昭和25年)当時の市区町村。

箕輪町は農産物の販売総額において、約20億円の販売額をあげていますが、2005年から2010年にかけて減少しています。

農業は、田園工業都市を目指す箕輪町の基盤をかたちづくるものでもあり、農業の振興策に取り組む必要があります。

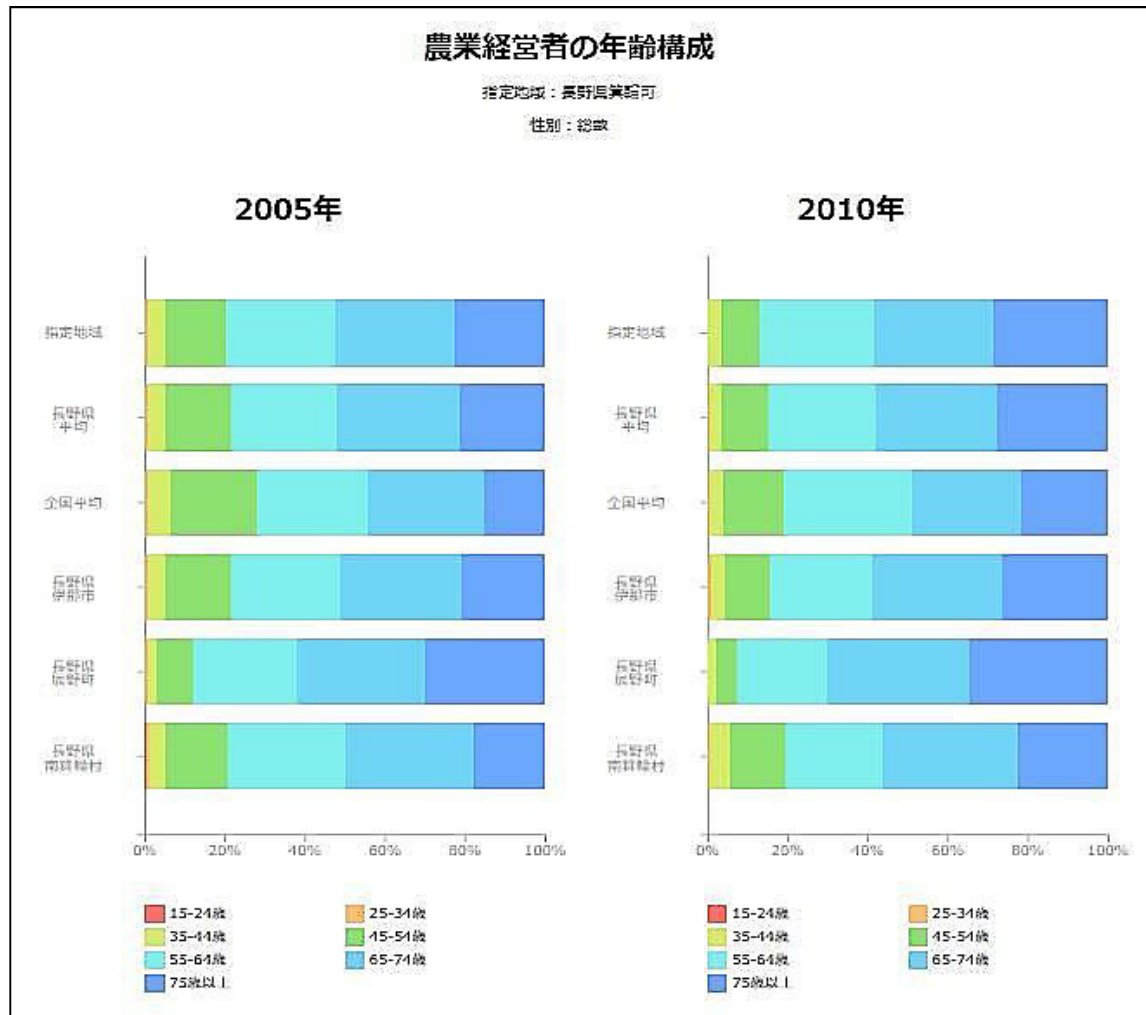
5. 農業分析 ② 農業部門別販売金額 (RESAS)



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工 【注記】農産物の販売金額は、下式による推計値。
 販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数)
 経営体：販売のあった経営体
 農業部門：農林業センサスの部門分類に農作業請負収入を追加。
 旧市区町村とは、1950年(昭和25年)当時の市区町村。

箕輪町は、酪農が36.9%を占めており、畜産関係のウエイトが高いところに特徴があります。

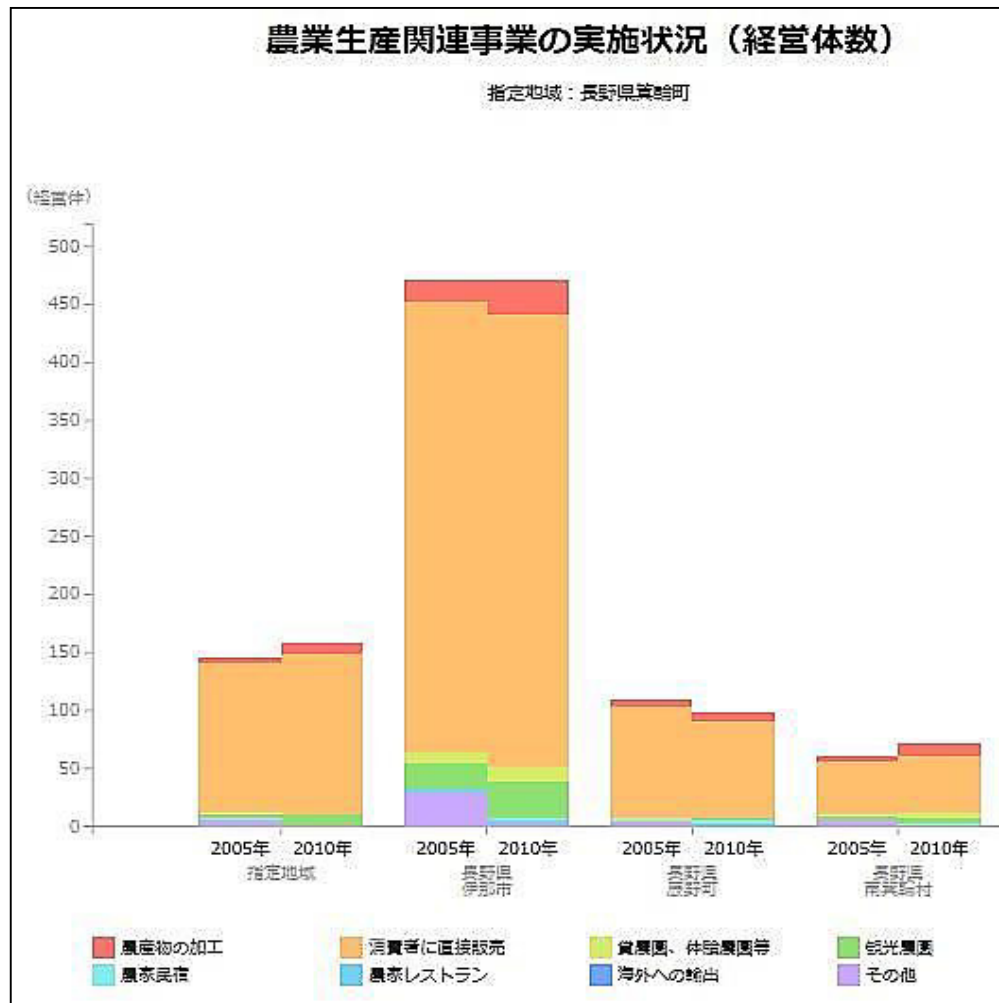
5. 農業分析 ③ 農業経営者の年齢構成 (RESAS)



【出典】 農林水産省
「農林業センサス」再編加工
【注記】 農業経営者：当該農家の農業経営に責任を持つ者をいい、農作業に従事せず作業等の指示を行うだけの者も含める。
農業就業人口：農業従事者のうち、農業を主として従事した世帯員

全国的に見ても、箕輪町は農業経営者の高齢化が進んでいます。75歳以上の経営者が30%近くに達しており、今後の担い手不足が心配されます。今以上に、若手の新規就農者の確保や拡大にも取り組んでいく必要があります。

5. 農業分析 ③ 農業生産関連事業の実施状況 (RESAS)



【出典】 農林水産省「農林業センサス」再編加工 【その他の留意点】 - 農業生産関連事業：以下のいずれかの取組。

- ①農産物の加工②消費者に直接販売③貸し農園・体験農園等
- ④観光農園⑤農家民宿⑥農家レストラン
- ⑦海外への輸出 (2010年のみ)
- ⑧その他

直接販売を行っている経営体数が多く、付加価値が高くない状態にあります。
箕輪の農産物の多様性や品質の良さを踏まえて、観光分野などとの関連のなかで農業の活性化策を講じる必要があります。

6. 「RESAS」による分析からわかったこと、政策の必要性

1. 女性の人口が男性を下回った。リーマンショックにより女性の働く場が減少したため、「25～29歳から45～49歳」女性の人口が減少したと考えられる。就業先の確保と、第2次産業振興策が必要である。

2. 第2次産業に従事していた女性従業者の減少を、第3次産業従業者が十分吸収できていない。女性が活躍できる環境を整えることが必要である。また、創業支援の強化が必要である。

3. 県内でも、上伊那地区の観光目的地検索は件数は低い。箕輪町の宿泊者数は南箕輪村より少なく、減少している。観光振興を進め、交流人口を増やす必要がある。

4. 箕輪町の観光目的地検索に、ふたつの体育施設が入っている。スポーツイベント開催の効果が考えられる。スポーツ振興は、交流人口増加に効果がある。スポーツを箕輪の魅力に位置づけることが必要である。

5. 近隣市町村に比べ、森林面積が少なく、素材生産量もデータに出てこない。林業を〈エネルギー〉の視点などから捉え、森林の魅力を箕輪の強みにする。

6. 農業は箕輪町の基盤ともいえる産業であり、畜産などの特性を活かしつつ地域内循環を盛んにするなかで、観光分野とも絡めて活性化していく必要がある。

7. 提言を行う政策分野 **委員会は、この6分野で政策提言を行います。**

第2次産業振興と創業支援

女性の活躍推進

観光振興

スポーツの振興

林業の振興

農業の振興